

産学協働地域活力創造推進プロジェクト

【活動地域】：南房総市白浜地区、千倉地区、和田地区、富山地区、丸山地区、南房総市役所内 他

【参加学科】：都市環境工学科、デザイン科学科、生命科学科、情報ネットワーク学科、プロジェクトマネジメント学科 他

海洋資源利活用PJ 富山地区

岩井海岸における海岸植物の保護を目指すプロジェクト。本年度は、地域の市民団体と共に調査や課題の洗い出し・共有化を行った。

次年度は、今回使用した箱庭生態系模型の地域環境への適用に取り組む予定。



【対応科目】：課題研究、卒業研究

学び舎「じんべゑ」

南房総市大井602

旧丸山町大井区の築100年以上の古民家。

地域C 青木秀幸さんが地域の方から借りており、丸山地区における千葉工大生の活動拠点として利用中



持続可能な集落創造PJ 丸山地区

山間集落の旧丸山町大井区を「過疎化・少子高齢化を乗り越える集落」のモデル地区とすることが目標のプロジェクト。

大井区の「じんべゑ」を大学生の活動拠点 兼 地域の方との会議スペースとして活用し、将来の計画や防災のワークショップなどを実施中。



【対応科目】：ゼミナール1、ゼミナール2、課題研究、卒業研究、ソーシャル・アクティブ・ラーニング

若者と市民の交流促進PJ

市内全域

市役所や市内の方の困りごとに対して、大学生がボランティアの形で、お手伝い活動を実施。大学生が南房総市に興味を持つことや市と大学の相互理解のきっかけにもなっている。これまでに、市主催イベントの運営や古道の整備などを実施。

【対応科目】：ボランティア

地域創生活動の連携促進PJ

市役所内

現在進行中の各PJを「住民」「市と関係しているメンバー」「観光で市内に訪れる人」の3つの視点から俯瞰し、PJの背景にある南房総での生活における現状の課題（pain）と、地域創成活動に対する期待（gain）に着目し、区分毎の類似性、差異をまとめ、今後の活動に資する知見を導くための考察を行った。

地域課題解決アプリ・システム開発PJ

市役所内

市役所所内で利用する各種アプリ・システムを開発するプロジェクト。昨年度は「塾利用バウチャー券の管理システム」を納品し、



教育長様より感謝状を頂いている。本年度は「徘徊者発見アプリ」と「公共施設利活用アプリ」を開発し、来年度以降の納品へ向けて検討中。

【対応科目】：ソーシャル・アクティブ・ラーニング

空き公共施設利活用PJ 白浜地区

南房総市の空き公共施設（旧長尾小学校・旧白浜観光案内所）を利用し、「シラハマLab.」、「シラハマFunBASE」として市民の方へのイベントを実施中。

【対応科目】：ゼミナール1、ゼミナール2、課題研究、卒業研究

シラハマLab.

（シラハマ校舎内千葉工大ブース）
南房総市白浜町瀧口5185

本年度より「シラハマLab.」として、地域の方々向けのワークショップなどを実施中。

地域Cのオフィスとしても活用するため、エアコン・無線LANの設置が完了。



シラハマFunBASE

（旧白浜町観光案内所）

南房総市白浜町白浜627-9

本年度より「シラハマFunBASE」として、地域の方々向けのワークショップなどを実施中。

FunBASE前の広場も利用して各種イベントを企画中。



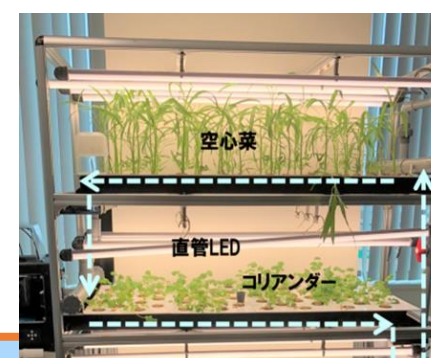
新規水耕栽培方式による農地利活用PJ

和田地区（安房拓心高校）

新方式の水耕栽培技術による、農業従事者の減少や休耕地の増加等の地域課題解決が目標のプロジェクト。

市内の安房拓心高校の協力のもと、試験栽培データを収集し来年度以降、現地農業法人、農家への本格的な普及を目指している。

【対応科目】：ゼミナール1、ゼミナール2



地域資源発掘（カレンデュラ）PJ

白浜・千倉・和田地区

日本一の生産量を誇る南房総市産キンセンカのブランドとしての確立を目指し、本年度は、南房総カレンデュラのブランドブック、カレンデュラ製品の認知度向上を目的としたアイコンマークの製作、お洒落なカフェやカレンデュラ製品取扱店をまとめたマップの製作を行った。

【対応科目】：ゼミナール1、ゼミナール2、課題研究、卒業研究



現状のプロジェクト成果

白浜地区の「シラハマLab.」、「シラハマFunBASE」、丸山地区の「学び舎じんべゑ」の3つの大学生の活動拠点の整備が完了した。

これにより、大学主催イベントの開催や大学生が安価で現地に滞在することが可能となった。

今後の展望・課題

これまで、各プロジェクト共に現状調査や地域との相互理解に重点を置いて活動を行ってきた。

今後は、COC+事業の最終年度である2019年度へ向けて、最終成果物の制作やモデルの確立を実行に移す必要が出てきている。